

logmasnit語

と狩人の路

logmasnit語とは

- ・ せんちゃが2025年より制作開始した人工言語
- ・ 「わかりやすい・覚えやすい」かつ「多彩な表現が可能」な言語を目指した
→ 本当にわかりやすくなっているのか
- ・ 創作世界の言語としても制作を開始

狩人の路とは

- ・ せんちゃが2025年より制作開始したアクションゲーム（個人製作）
- ・ 「弓使いの少年の冒険譚」のようなイメージ
- ・ 公開予定 → なし
- ・ 完成予定 → なし

logmasnit語が目指す場所

- ・ 学習者にとってわかりやすい言語

→ 単語の意味範囲をシンプルにすることで、語の選択をわかりやすく

- ・ 表現力が豊かな言語

→ 複数の単語を組み合わせて別の意味を持たせることで、
様々な言葉を作れるように

logmasnit語の特色

- ・ 一語一語の意味がシンプル
- ・ 複数の語を連結し複雑な意味・表現を作り出す
- ・ 様々な助詞により文を成り立たせる

logmasnit語

文法紹介

logmasnit語の基本文法—語順

- ・ VOS（動詞 — 目的語 — 主語）の順番
- ・ 動詞句の最後に必ず時相助詞（時相詞）
- ・ 時相助詞とは、時制と相を表す語

logmasnit語の基本文法—時相

- ・ 時制を表す子音 + 相を表す母音

過去	t	開始	e
現在	m	進行	i
未来	d	完了	u
無時制	f	無相	a

logmasnit語の基本文法—助詞

- ・ C V (子音 + 母音) でできた単語
- ・ 単体では意味を成さず、ほかの語につくことで意味を成す。
- ・ 一部の助詞は疑問文の返答として単体で用いることが可能

logmasnit語の基本文法―時相

- ・ 未来時制

→ 絶対に起こること
確定している未来

→ 「絶対にやってやる」

- ・ 無相

普遍的な出来事

→ ことわざなど
始めから終わりまで

→ 1時間遊ぶ
1時間遊んでいる

logmasnit語の基本文法—疑問

- ・ 疑問助詞 [ka]

文末につけることで疑問文であることを表す

- ・ 疑問詞 [kona]

[ka] と同時に用いる

聞きたい場所に入れることで疑問文を表す

logmasnit語の基本文法—疑問

- ・ 疑問詞 [kino]

疑問文や平叙文において、「聞きたくない場所」に入れる

例：「誰かがやったのか」

→ 誰がやったかは聞いていない。

※日常会話では [kino] と [kona] は殆ど同じ意味を表すことが多い。

logmasnit語の基本文法ー否定

- ・ 否定助詞 [na]

どこにでも入る

直前の語を「否定」する。

※二重否定も可能だが否定の強度が落ちる

品詞によってどのように変化するかが変わる。

※ほとんどの助詞にはつかない。

logmasnit語の基本文法—否定

wag ni te apo pag li

私たちはリンゴを食べ終えられた



全て可能

logmasnit語の基本文法ー否定

- wag na → 食べない
- ni na → できない（できる + ない）
- te na → まだしていなかった
- apo na → リンゴじゃないもの
- pag na → 私じゃない人
- li na → 複数じゃない → 私だけ（強調）

logmasnit語の基本文法—否定

- wag na ni → 食べないことができる → 食べれるし食べないこともできる
- wag na ni → 食べることができない → 食べれない
- wag na ni na → 食べないことができない → 食べなきゃいけない
(wag su で「食べなければならない」ともなる)

logmasnit語の基本文法—複合

- ・ and or がわかりづらい

→ () で閉じるようにしたらよいのでは

- ・ and : bi ~ ... go

- ・ or : ba ~ ... go

※baの前に数を表す語を置いたら～のうち○○個 という形になる

logmasnit語の基本文法—形容

- ・ 基本は後ろから前
- ・ 助詞を使うこともできる
助詞の後ろは動詞か名詞を用いる。

logmasnit語の基本文法—比較

- ・ 形容詞の後ろに [se] を入れ、その後ろに名詞を置く
- ・ 等級の場合は [se] の代わりに [za] を置く
- ・ 最上級は「他すべてより」という意味なので [se bis] を置き名詞をつける

logmasnit語の基本文法一数

- ・ 名詞の後ろに [li] をつけると可算複数形
- ・ 名詞の後ろに [be] をつけると非可算複数形
※数えきれない場合や特定しない場合も [be] をつける。
- ・ 水などの非可算名詞に [be] がついていない場合は成形されたものや
箱・コップなどに入っている場合として考える。

logmasnit語の基本文法—前置助詞

- ・ 名詞などの後に他の語と一緒に置くことで説明を付け加える
- ・ 一部前置助詞は動詞を後ろに置くこともできる
- ・ 前に名詞がなくてもよい
- ・ 単体では用いることはできない

Logmasnit語の基本文法—前置助詞（随時追加）

ke	～する/～するもの	no	～の/～のもの
to	～に/～へ	se	～よりも
za	～と同じくらい	do	～から
ga	～で（時）	zo	～で（場所）
ki	～すること	ne	～が入っている
ze	～するための		

logmasnit語の助詞

- ・ [za] は「～のような」という意味にも使える。（英語でいう like ）
- ・ [ke] はあくまで「後ろの動詞の主語」を表す。[ke] の後ろの動詞の後ろに [bo] を入れることで「動詞の目的語」を入れることができる
- ・ [no] は「～の一部の」という意味もある。

logmasnit語の展開予定

- ・ 文法をさらに広げ、より複雑な意味の表現を可能に
- ・ 様々な文を翻訳し、語彙の拡張
第一弾として造語雨の翻訳
- ・ 自作サイトの充実

終わり

個人サイトも見てみてね